

「まとめ」

今回の調査では、回収率が50%弱ということもあり、この結果が島民全ての意見であるとは言い切れないが、回答された方の多くが、離島架橋に対して賛成意見である。

また、離島架橋を促進するための何らかの組織の必要性も認めており、今後、市・関係団体・地域住民が一体となって活動することが重要である。

また、回収率については、アンケートの質問内容及び回答方法が難解なところがあったことも影響していると思われることから、今後の調査では充分配慮することが必要と思われる。

しかし、特筆すべき点として、問 16 からの島のキャッチフレーズ等の記述回答の多さがあげられる。

これは、地域住民の郷土に対する愛着心と離島架橋に対する関心の高さが現れていると考察することができる。

離島架橋に対する賛否においては、100%の賛成という結果ではなかったが、今後、離島架橋の必要性を上位機関へ陳情するとともに、賛成以外の方を“賛成”という方向に持って行くことが重要である。

そのためには、行政・地域住民が一体となり、離島架橋についての“勉強を行うこと”もさることながら、それらの行動や活動を持続・継続することが最も重要である。